

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	牛久市こども発達支援センターのぞみ園		
○保護者評価実施期間	2025年1月7日 ～ 2025年2月14日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2025年1月7日 ～ 2025年2月14日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○訪問先施設評価実施期間	2025年1月7日 ～ 2025年2月14日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	18	(回答数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	全員が有資格者で、専門的な知識がある。	職員それぞれの専門的な視点で、意見を出し合って支援をしている。	知識や技術が助言に活かしているのか、訪問の振り返りや記録の閲覧時、意見を訪問者に伝え合うことにさらに力を入れていく。
2	保健センター・教育委員会・きぼうの広場・保育園・幼稚園・認定こども園との連携ができています	市のかかるがも教室や巡回相談への協力、就学支援など、積極的に行っている。公開療育を行っている。	訪問先など、のぞみ園に繋がっていない支援の必要なお子さんへの支援もさらに力を入れていく。 園の先生方との連携をさらに深めていく。
3	多機能型の施設。 親子通園のため、保護者支援もできる。	ペアレントトレーニング・おしゃべり会・勉強会を実施している。	内部研修・外部研修への参加、専門的知識の学びを深め、参加者は、伝達をして知識の共有化を図っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問回数と訪問先のニーズに合わせた支援が充分ではないことがある。	それぞれの園の状況や、子どもたちの特性を踏まえた上で、保育の現場ではどんな支援が適当なのかを、話す時間が少ない。	研修や訪問後の振り返りを通して、知識技術の向上に努めていく必要がある。また、年度当初から、各園との訪問日程を計画させていただき、計画的に訪問をしていく。 必要に応じて、計画外の訪問にも対応していく。 訪問支援員の確保に努める。